

150号記念 特集号

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F (〒920)
電話 (0762) 22-5373番
発行人 後藤田博之
印刷所 ユーアイ印刷
(会費月額 3,800円)

富山協会が 石川理事会を見学

合同編集座談会も



石川14名、富山7名の役員、事務局長が参加。協会事務所に開催。

定例の理事会が始まりました。当協会は十四名の役員と三名の事務局長が出席し、この日の議長・平松副会長の司会で各部署より当面の活動計画の他にそれぞれ次のような報告がなされました。

①休業保障給付申請者の確認と休業保障制度の一部改正について。
②『保険医の経営と税務』の会員無料配布の件。
③慢性疾患マニュアルの第二弾を本年五月中に製作。
④病院マップ改定版の製作を早い時期にとりかかる。また、協議事項では次の内容が討議検討されました。

会務報告

総務・財政部

①会員数、現在五二二名。医科会員が全国的にみても高い上昇率で伸びている。

協議事項

①老人保健施設に関する検討。特養の嘱託医を囲む会を開き、あるべき中間施設について考える機会とする。

編集に関する 座談会も

②保団連第二十五回定期総会の方針案の討議および協会代表の発言準備。
③石川協会第十三回定期

つづいて第二部として、五時から約一時間、富山協会の先生方にも加わって頂き、柳下機関紙部長の司会で、保険医新聞一五〇号の編集計画や文化行事の報告がなされた後、石川、富山両県の編集に関する座談会が行われました。

持論

昨年十二月五日、自民党税制調査会が決めた「税制改革の基本方針」は、所得税、住民税の減税という「明」の部分に対し、このマイナス部分をカバーする財源として新たに売上税（日本型付加価値税）の導入を打ち出した。今回の税制改革はシャープ勧告以来続いた申告納税中心の直接税から新型（大型）間接税を導入した直接税、間接税二本立体制への移行であり、所得の減税は累進課税による過大な税負担にあえぐ高額所得者に仕事の活力を与えるとして評価されるが、売上税はいろいろ問題がある。すなわち、

「売上税」阻止を 国民とともに

①増税が容易。痛税感がうすいため、一旦財源が不足すれば容易に税率を引き上げ増税することができる。原則五%となっているが、欧州には一〇%以下の国は一つもない。
②税負担の公平に反する逆進

性。消費に対し一律課税されるため、所得に占める消費の割合の高い低所得者層は税負担が大きくなる。
③物価上昇に拍車をかける。消費全体に課税されるため、当

納税コストの負担は消費減退のため、所得の転嫁は困難となり、企業経営の破綻を招く。自由診療の多い歯科、産婦人科は苦しむ。
⑥記帳事務の煩雑、税務調査

の拡大。以上、問題点をあげたが、これらをカバーするものとして、社会保険医療、食料品、売上げ一億円以下の企業などに免税措置がとられている。しかし、売上税導入に固執している大蔵省の本音は、あくまで増税による財政再建であり、増減同額を基本とする税制改革は将来への一ステップにすぎず、やがてかねてのターゲットであるわれわれに事業税の非課税措置撤廃などつきつきにパンチを浴びせてくるのは必至である。

このあと場所を近くの料理屋「まつ本」に移し、鍋料理をつつきながらの懇談に入りました。お酒が入ったの懇談もまた有意義で、話も一段と弾み、参加者一同、名残惜しいうちに散会となりました。
(四・五面に富山協会・高野会長の印象記は関連記事を掲載)

医心凡話

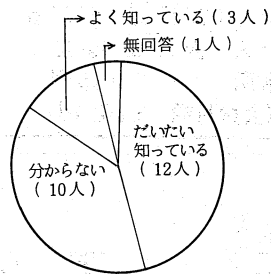
交通遺児をばげます会に出席した。一家の大黒柱を失った気の毒な家庭に、いくらかでも救いの手をさしのべられないものかと、心ある人たちのボランティアの集いである。事故が起きてからではおそい。いかにして事故を防ぐか、そして微力ながらもこの子らの育成を手伝わなければならないを深めて帰ってきた。

◇ その昔、雨の日も風の日も、自転車のペダルをふんで貧しい人を無料で診ていた時代があった。時の流れと共にスクーターから自動車へと変遷。そして国民皆保険へと。

あれから何十年もたつて果してどれだけの医療行政が進歩したであろうか。厚生省は年々歳々、細かいところまで規制をして、医療本来のあり方を遂行していくが、保険医制度はこれいいのだから。国の医療政策は全くおかしい。どうしたらいいのか、どうすべきなのか、いま、われわれは積極的に、医療を守るために、地域ごとに対厚生省案を考えなければならぬ。

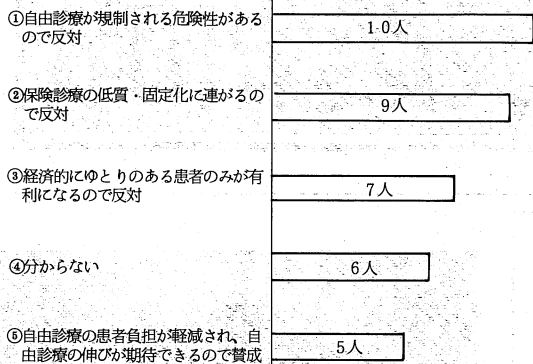
◇ このままでは地域医療の担い手である開業医がいなくなり、これが国民にとって、いかに不幸であるか、声を大にして叫ばなければならない。

歯科会員115人に聞く

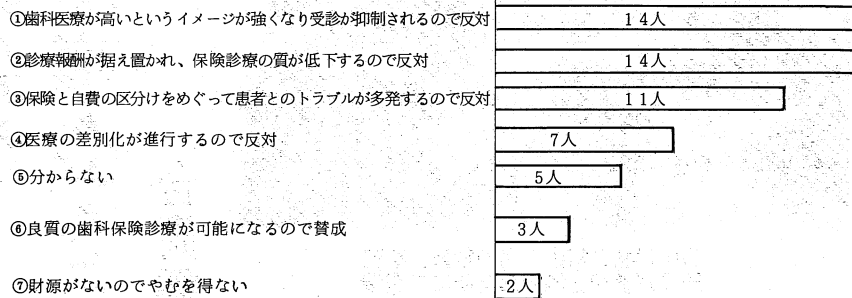


問1. 特定療養費制度とは、どのような制度かご存知ですか。

問2. メタルボンドや金属床などに、特定療養費制度を導入する動きがありますが、どう思いますか。(重複回答可)



問3. メタルボンドや金属床のみならず、現在保険に適用されている補綴治療の全てが、将来的に特定療養費制度に移行する可能性もありますが、どう思いますか。(重複回答可)



。保険診療の財源のワケが決まっているので、正しく運用されれば患者にメリットがある。歯科医も不道德なことをやらなければ何もデメリットはない。

。アンケートの内容が悪い。この内容では何が問題になっているのか不明。

。特定療養費の導入には賛成であるが、合わせて補綴関係の点数を三〜四倍にする。

。高度医療の点数アップを願う。

。自由診療は絶対に残すべきです。現行の前装飾冠も保険導入は好ましくない。

。歯科医療を巡る社会問題が大分沈静化してきたというのに、又そろそろ巻き返すとは。国会議員なんていうのは庶民のことは何一つ分かっていない。

②参議院不要。

。自由診療は歯科医学の進歩、発展のため存続しておくべし。また一部の国民は最良の材質を求めるといふ現実は無視できない。同時に歯科医の自由裁量権を残しておくことになる。(進歩、発展上)

さて、九割以上の国民歯科医療の質的改善をはかる上で歯科医療費総額を上げる運動をすべし。現在十%前後のものを一三〜一四%にあげ、その分を補綴不採算部門へ振り向けるべし。

。差額徴収は、歯科医療費総額の減少を来すという歴史的事実があるから絶対阻止すべし。また一般国民の不信を来すことにもなる。

歯科

この道はいつか来た道

差額復活問題アンケートから

回収率からみて、会員の総意を反映しているとはいえないが、寄せられた賛否いずれの意見にも、今日の歯科医療行政に対する不満や強い政治不信を読みとれる。

療養の質的向上と収入増を期待する意見もみられる

特定療養費とは、先の健保法改正で認知された二種あるうちの一種、厚生大臣

が、反対意見の方が多い。問題の本質を知りたいという意見もある。特定療養費の出できた背景と、それに対する保団連歯科協会の見解を述べたい。

特別に定め得る療養のことであり、それはこの医療機関でも扱えるものである。それは、日歯会長がこれからの歯科界の活路を招くにはこれしかないとい力説しているものであり、特養の対象として、メタルボンドや金属床などが考えられ

アンケート集計結果

回収率 26人回答 22.6%

「意見欄への回答」

。一方、補綴不採算、それと同根の委託技工料問題に理解を示そうとする一部自民党議員も同様の発言をしている。

その内容は、自由診療であるメタルボンドは一歯八万円(標準)であるが、そのうち、どれくらいの額を特養、つまり保険給付相当額に定めるのか、先に保険導入された前装飾冠を例

にとり、仮に三万円となれば、残り五万円を患者から徴収してよろしいというものなのである。

分かりやすくいえば、以前の差額制度を名称を代えて復活させるということなのである。

歯科協会は、皆保険制度の堅持と保険給付拡大とを理念にしているが、現状において、以下の理由から特定療養費に反対している。

一、一部の歯科医を除いて収入額および需要拡大に

二、患者とのトラブルや広

三、監査の対象にされること。また、患者負担額に民間保険が導入され、査定の対象にもなる。

四、補綴部門が次々に差額化され、しかも特養の財源を求めるとともに他の処置行為が、いま以上にま

るめられる。

そこで歯科協会は、これからの活路を医療の総額を増加させることに求めている。

さて、日歯執行部の案が有効であり、それを誘導する自民党政治家が聡明であるのか、歯科協の案が無理難題なものであるのか、歯科の特養は、財政に係わる

保団連歯科協議会の反対理由

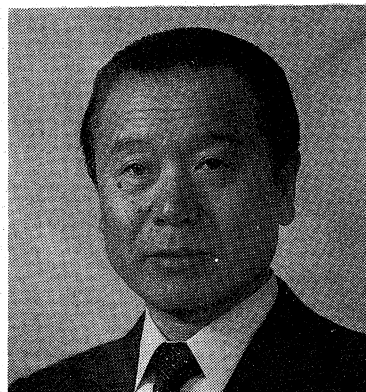
。定数一増の衆議院議長に勲一等、行政改革はどうな

。自由診療は歯科医学の進歩、発展のため存続しておくべし。また一部の国民は最良の材質を求めるといふ現実は無視できない。同時に歯科医の自由裁量権を残しておくことになる。(進歩、発展上)

さて、九割以上の国民歯科医療の質的改善をはかる上で歯科医療費総額を上げる運動をすべし。現在十%前後のものを一三〜一四%にあげ、その分を補綴不採算部門へ振り向けるべし。

。差額徴収は、歯科医療費総額の減少を来すという歴史的事実があるから絶対阻止すべし。また一般国民の不信を来すことにもなる。

生きがいある 二十一世紀に向かって



岡部雅夫先生

(昭和7年10月13日生)

政治活動への意志を固める

昨年11月、岡部雅夫先生が政治活動への出馬を決意されました。現在、金沢市医師連盟などで活発な後援会づくりがなされています。

【略歴】

昭和34年 日本大学医学部卒業
昭和36年 金沢大学医学部 文部教官 助手
昭和42年 岡部病院院長
昭和47年 岡部病院理事長

【公職】

石川県精神衛生審査委員
石川県支払基金審査委員
石川県医師会診療担当者審査委員
石川県医師会専門科別社会保険委員

金沢市民生課嘱託医
金沢市養護老人ホーム入所判定委員
金沢市学校保健センター運営委員
金沢市医師会理事
日本精神病院協会代議員
日本精神病院協会退職金共済会理事
日本大学医学部同窓会石川県支部長
精神衛生鑑定医
交通調停事件担当調停委員
社団法人全日本愛隣会理事(北陸地区長)

新刊 「実用デンタルクリニック英会話」

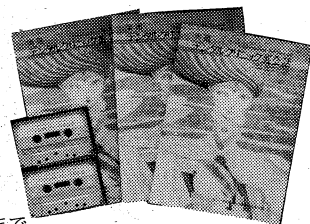
大阪府歯科保険医協会テキスト作成委員会編著
テキスト 1,500円 (B5版、96ページ)
テープ 5,000円 (70分テープ2巻)

※分売可、送料別

●予約の取り方、レントゲン撮影、根管治療、印象採取、歯周治療など27シーンの英会話を解説

※お申し込みお問い合わせは協会事務局

0762-22-5373
または直接、大阪府歯科保険医協会・共済部 (06-568-7731) まで



(歯科部)

第25回保団連定期総会

1月25日 東京

強い危機感から 90通の発言要望

大寒のさなかの日曜日、一月二十五日。東京は薄日のもれる陽気であった。いささか分不相応の感がなきにしもあらずといった笹川記念会館国際会議室を会場として、保団連の定期総会が開かれた。

議長、執行部、運営委員、書記などが壇上に座り、後ろの垂れ幕には「視野を広く、強めよう第一線開業医団体の役割」と大きく横書きされたプラカードをはき込んで活動目標が四つ縦に並べて掲げられている。

危機感を熱く訴える会長挨拶が始まる。聴き入る参加者は、各協会から一五九人の代表（石川から二名）の他、執行部、事務局員、オブザーバー、報道関係者などしめて、およそ三五〇人。

つづいて議事に入る。活動方針案の説明から、予算決算の件、規約改正の件とだんだんと進み、団体表彰の拍手がひととき大きく響きたる。

そしていよいよ討論である。昼休みをはさんで午前と午後、総計四時間余りがこれにあてられる。各協会からの発言要望の件数はおよそ九十通にも達したので文書発言にまわされたものも少なくなかった。発言は大きなテーマによって六つのグループに分けられ（活動総括、医療活動、医療制度、非核平和、組織活動、財政）、順次、数人ずつの小グループが一人三分の持

時間発言を許され、それぞれの担当役員の答弁があった。石川代表（長基）も活動方針案の文章と政策能力について発言した。役員

の長答弁もあって、時間の制約がきびしく、自由な討論が少なく、全員が危機感を強くもっていた割には、いまひとつ盛り上がりはなかった。

その後、各議案の採択にうつり、宣言案と増税に関する特別決議案も採択されて、閉会となった。

（総会代表 長基 頭）



石川を代表して活動方針案に関する質問をする長基理事。

〔総会印象記〕

反省させられた 行動力不足

「医療改悪を阻止できる力量ある保団連をめざす」一九七六年度活動方針案を協議する第二十五回定期総会が、東京笹川記念会館で開催され、私も初めて参加させていだいた。

いろいろな重要な問題、方針案が解決されることを願って各協会から提起された。しかし、数のあまりの多さに対する討議時間が少なすぎた。総会は議案の提起提起に流れがちで、答弁する執行部も、うけたまわります、自分の力量不足です、

各協会 独自の活動 強化を

これだけ大きくなった保団連を、役員報酬もなくボランティアだけで、執行部がまとめる、問題解決をめざし、方針の実践を追求する

などが多く、対応しきれない感じが強かった。特に北海道代表の発言にはひとつ明確な応答がなかった。

〔問〕 近くに同一診療科目の病院が進出してきた影響なのか、患者数が減少傾向にあります。増患増収対策を真剣に考えておりますが、どのような対策をとれば良いでしょうか。

解答者 木村経営ブレーン
木村光雄 税理士

〔答〕 今日の医療環境の大きな変化の一つに、病院は患者に選ばれる時代になったということがあります。ということは、患者が自らの病院に何を求め、また病院がどのような医療サービスを提供できるのか、そのことを明確にしておかなければなりません。患者ニーズが、ピフオアケア、インケア、アフターケアのトータルケアを基本的に志向しているとするならば、病院が提供しなければならぬものは、単に医

療技術だけでなく、トータルな医療サービスでなければ、必然的に患者は離れていきます。これを全院的に認識することが増患増収の基本であります。

さて、具体策となると、まず患者アンケートを行い、固有のニーズをとらえる方法が有効でしょう。外来、入院、施設などに對し、良い、普通、不満があるといった選択形式で記入してもらい、調査対象を様々な角度から分析し、細分化を行い、優先順位をつけ、改善行動に移していくのです。

その他の方法としては、一、接患・接遇のマナーの基本を徹底して訓練する。例えば、あいさつの励行、自院の標準

一、三月三十一日、会館加賀で老後問題を考える石川のつどいの世話人会（代表・梶井幸代氏）が開かれ、昨年の反省と今年の第六回つどいに向けての打ち合わせが行われました。今年「国際居住年」の年でもあり、「住まい」をテーマとし、高令者が健康で文化的な生活をするためには、どのような住居や居住環境が必要なのか、各分野からの実践報告を通じて共に考えていくことになりました。日本は経済大国といわれながらも住宅事情に至っては先進国で最低といわれています。そうした中で老人の在宅医療の実態やこれからの在宅医療のあり方や往診などに

二、徹底したクレーム管理を行う。このクレームほど患者のニーズを一番よく表わしているものはないのです。

三、積極的な病診提携を行う。これは地域医療に貢献するため、中核医療機関との提携を深め、相互に補完しあうことで多様な患者ニーズに対応していくことができます。

以上、総じて「待ちの対応」から「攻めの対応」を行うことで、他院（競合院）との具体的な差別化をすすめることが、結果として増患増収に結びつくのです。

◆問合せは、(〇七六二) 九一三三三五(代)

老後問題を考える石川のつどい 世話人会報告

10月18日(日)「住まいと健康」をテーマに
在宅医療の実態と展望を考える

一月三十一日、会館加賀で老後問題を考える石川のつどいの世話人会（代表・梶井幸代氏）が開かれ、昨年の反省と今年の第六回つどいに向けての打ち合わせが行われました。今年「国際居住年」の年でもあり、「住まい」をテーマとし、高令者が健康で文化的な生活をするためには、どのような住居や居住環境が必要なのか、各分野からの実践報告を通じて共に考えていくことになりました。日本は経済大国といわれながらも住宅事情に至っては先進国で最低といわれています。そうした中で老人の在宅医療の実態やこれからの在宅医療のあり方や往診などに

（地域医療対策部）



全国から350人が参加
(東京・笹川記念館国際会議室)

本紙150号発行を達成

《一五〇号記念座談会》 富山協会役員と

編集の工夫あれこれ

「石川保険医新聞」一五〇号の発行を記念して一月十八日、協会事務所において懇談会が行われました。これは当日行われた富山県保険医協会との役員懇談会の議題の一つとして企画されたもので、両協会の編集の工夫について約一時間懇談が行われました。

最初に司会を担当した柳下機関紙部長から、保険医新聞一五〇号の編集計画や

文化行事の報告があり、つづいて、両協会より日頃の編集活動についての話題提供が行われました。また、お互いに持ち寄った新年号の合評も行われ、なごやかに懇談が進められました。

石川協会は昨年十一月三十日に行われた、全国機関紙担当者交流会で、兵庫協会と共に指名され、編集活動の工夫について話題提供して読まれる機関紙づくりにしみついている感がある。

その点で、本紙は充実した編集スタッフによる会員参加もの（「わが家族」「お訪ねします」とも秀逸）、地方色を豊かに盛り込んだお祭りシリーズなどで、見事に会員の目をとらえている。昨年十一月の保団連機関紙交流会における話題提供では、なみいる全国機関紙担当者たちから注目をうけたことは記憶に新しい。

今後の課題としては、発行回数の問題、魅力的なテーマを選べる本格的連載ものの発掘であろうか。

最後に、昨年七月、千五百号を発行した京都協会紙からも、本紙一五〇号の実績に大きな拍手を送らせて頂きたい。

多彩な編集に注目

保団連機関紙部長 北小路 博 央



機関紙は組織の基本的理念と具体的政策を会員に伝える一方、会員間の意見をくみあげることによって組織全体のコミュニケーションを強めるパイプである、という理屈はそれとして、何はともあれ、会員に親しまれ読まれるものでなければならぬ。この単純明快な命題の難しさが、機関紙作り十数年になった私の身

(京都協会副理事長)

多くの会員の登場を

機関紙部長 柳下 邦 男



りが編集の基本である。編集のポリシーという点では、富山協会は今後の医療情勢についての情報提供に重点を置いていた」とのことでした。

定例の編集会議が確立されていないとのことでしたが、豊富な情報を提供する「富山保険医新聞」が、ごくわずかな人数で出来ていることに参加者はその能力と努力に感服した様子でした。

つづいて「石川協会の編集体制はおそらく全国でも有数のもの。二月号の企画が既に一月初旬に決定し、しかも豊富な編集陣ながら小回りもきく。機関紙部長一人ひとりの役割分担が実に合理的」とのご意見も少々照れくさいながら拝聴しました。

約一時間の懇談でしたが、理事・役員全体で機関紙活動について語る機会が少ないうだけに、大変有意義なひとときでした。

今年号が石川保険医新聞第一五〇号となります。これは機関紙部員の努力だけでなく、会員諸氏のご尽力により達成できたものと思っております。

また、事務局の皆様も種々の講習会に参加され、機関紙づくりに大いに活用して頂いていることに対しても感謝しております。

一五〇号までの足跡を顧みますと、初代機関紙部長・高松先生に始まり、木戸先生、大石先生と続き、その間、ご苦労もあつたことと思えます。私が一昨年、部長に命じられたころにはこれら諸先輩のご努力により機関紙づくりも軌道に乗

共済部からのお知らせ

保険医年金

保険医年金の中途解約および年金受給者の確定申告について

六十一年中に保険医年金十五万以上の場合は一割を解約され、脱退一時金を、源泉徴収しておりますが、お受取りになられた先生は、源泉徴収の有無にかかわらず「一時所得」として他の所得と合算して確定申告を行って下さい。

一時所得の計算方法および確定申告書の記入は下表のとおりです。

また、現在年金受給の申し込みを受けておられる先生方は、昨年十一月送付の年金支払通知書に「年金支払報告書」が添付されておりますので、報告書記載の金額を「雑所得」として申告して下さい。

なお、年間雑用所得が二

一時所得金額() = (①一時金受取額 - ②雑金合計 - ③特別控除) × 1/2

* 申告書への記載は下記の通りです。

① 所得金額		② 雑金合計		③ 特別控除	
所得の種類	金額	所得の種類	金額	所得の種類	金額
一時金受取額	500,000	雑金合計		特別控除	500,000
一時所得					

※詳しくは、協会事務局までお問合せください。(0762) 2215373番

の企画は単に「まつり」を紹介するだけでなく、その新聞あるいは保険医協会を知ってもらえたという意義もあつたと考えています。

その意味で、今年からは「わが町村の医療と福祉」と題して新しいシリーズを設

け、積極的に各町村を訪れたいと思っています。

今後皆様は親しまれ、役立つ読まれやすい新聞を発行できるよう努力致します。

忌憚のないご意見などお聞かせ下されば幸いです。

石川県保険医協会

第13回定期総会

要項決まる

とき 5月16日(土) 午後4時～8時

ところ 金沢都ホテル 5階会議室

【記念講演】

テーマ 石川県における老人医療と福祉の方向 (仮題)

講師 石川県高齢者健康福祉対策室長
石川県技監 西 正美 先生

☆詳しくは次号でご案内いたします。

石川協会の理事会を見学 活性化の秘訣を

富山県保険医協会会長 高野昇治



懇談会に出席の富山協会役員の方々。
左から3番目が高野会長。

石川協会の盛んな活動を
見ている、その原動力を探
りたいとは常々思っていた
が、それには一度、理事会

を見学させて頂いて、われ
われに役立つ何かを得て帰
るならば当方の活性化にと
ても役立つだろうと漏らし

ていたら、ありがたいこと
に、それではどうぞという
ことになって、一月十八日

石川協会としては初めての
日曜理事会に、私も富山
協会の七名を同席させてい

ただいたこと、心からお礼
申し上げる。

いろいろな参考になるこ
とがあった。

会場設営面では、机の大
きさもちょうど対談がしや

すいようであったし、座席
のとり方に上下の感じも出

ていない、資料もコンパクト
等々細かいこともメモさ

せていただいたが、最も印
象を深くしたのは、発言さ

れる理事の方々の、当然か
も知れぬが、その担当分野

についての深い知識とそれ
上にある熱い情熱ともいう

べきものであって、活性化
には小手先の秘策なんかで

はない、全く「人」の問題
だとしみじみ感じ入った。

後藤田会長の発言、平松
副会長の司会ぶり、高松先

生の笑い声などは一つのコ
ンビとなって会のかなめと

なっていた。

その後の協会紙について
の懇談会においても、この

「人」の感じは強い印象で
あって、これら人材をどの

ようにして協会へ結集され
たのか、非常に興味を持っ

た次第である。

他人の花は美しいかも知
れないが、先輩協会を一日

も早く追い越したいものだ
と考えながら、鈍行電車で

帰途についたものである。
末筆ながら石川協会の皆

シリーズ 再審査請求の のすすめ その③

保険医協会は、再審査
請求の迅速な対応を呼び
かけているが、これと再
審査請求の申し出期限の
関係についてふれてみた
い。

迅速な対応と請求権 の関係 — 時効は三年 —

現在、厚生省通知(六
〇・四・三〇保発第一七
号)により、再審査処理
の迅速化をはかるため、
「医療機関・保険者双方
とも六カ月以内に再審査
依頼するように」といつて
いる。また、日本医師会
も「再審査申し出期限は
審査決定後六カ月」(六
〇・五・七吉田常任理事
通知)と各都道府県医師
会に通知している。なお、
ここでいう六カ月とは、
減点の事実を知り得た日
からのものである。

申し出期限が六カ月とい
うのは、法律で定められ
たものではない。法律で
みると、民法第一七〇条
の「一、医師・産婆及び
薬剤師の治術、勤労及び
調剤に関する債権」は、
「三年間之を行わざるに
因りて消滅する」とあり、

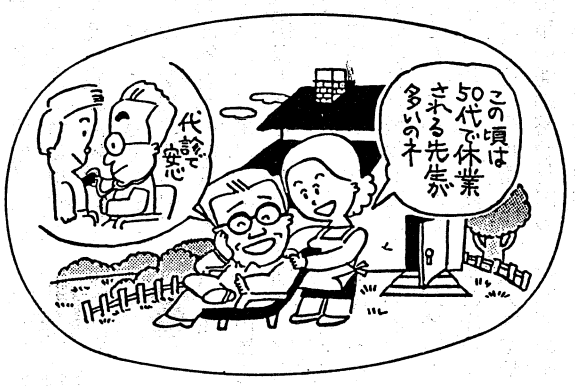
三年の短期時効債権であ
ることが明記されている。
そのため基金・日医のい
う六カ月期限は、あくま
でも「紳士協定」であり、
法律上からは三年間が請
求の時効となる。

ただし、医療機関とし
ては保険者からの再審査
請求による減点が、一々
査定・減点は請求して
からほぼ二カ月後に分か
るが、時効が三年である
として悠長にしているは
減点がさらにエスカレー
トする。不当な査定・減
点には迅速に対応し、審
査委員がそれを参考にし
て審査する「審査録」を
書き換えさせることが大
切であることは繰り返して
強調している。また、長
期にわたる連続減点には
納得のいくまで繰り返して
納得のいくまで繰り返して
根気よく再審査請求する
必要がある。

「再審査請求は、自ら
の診療に自信をもって、
迅速かつ根気よく」とい
うことを改めて強調して
おきたい。
(学術・保険部)

迅速かつ 根気よく

査定・減点は請求して
からほぼ二カ月後に分か
るが、時効が三年である
として悠長にしているは
減点がさらにエスカレー
トする。不当な査定・減
点には迅速に対応し、審
査委員がそれを参考にし
て審査する「審査録」を
書き換えさせることが大
切であることは繰り返して
強調している。また、長
期にわたる連続減点には
納得のいくまで繰り返して
納得のいくまで繰り返して
根気よく再審査請求する
必要がある。



休業保障制度 4つのポイント

- 掛金は加入時から不変
(若いうちに加入するとお得です)
- 代診・自宅療養も給付
(安心して療養に専念できます)
- 給付金は非課税です
(税法上課税の心配はありません)
- 他との重複給付が可
(状況に応じた保障計画がたてられます)

募集期間 4月1日～5月29日

ただ今、予約申し込み受付中!!
協会事務局まで
ご一報下さい。

挑戦してみましよう!!

頭の体操

健保ABC

当保険医協会では事務局員の研修を保団連や北信越ブロック独自の学習会に送る形で実施している。昨年12月、新潟市でのブロック事務局学習会では、保団連の「保険診療の手引き」の実務上の編集者らを招き、5時間にわたって保険制度・保険診療の仕組みや支払い制度について、みっ

問題 次の文章が正しい場合には、○を、誤っている場合には×印をつけて下さい。

- () ①健康保険の被保険者の給付割合は、現在9割給付であるが、61年4月以降国会の同意があれば、法律改正しなくても、これを8割給付にすることができる。
- () ②日本の医療保険制度の中で最大の構成員をもつのは国民健康保険である。次に多いのは政府管掌健康保険である。
- () ③交通事故の治療費は加害者が支払うことになっているので保険給付外である。従って、保険証を提示しても、原則として保険診療は受けられない。但し、医療機関は保険診療を拒否できても、診療(自費)自体は拒否での間に支
- () ④11月25日から20日間同一病院に入院した。この場合、高額療養費として払い戻しを受けられる金額は、46,000円(低所得者70,000円)である。
- () ⑤看護料、移送費、分娩費、はり・きゅう、マッサージ、柔道整復、治療用器具はすべて療養費払いである。
- () ⑥健康保険の場合は、いわゆる本人を被保険者、家族を被扶養者というが、国民健康保険の場合は、本人、家族とも被保険者である。
- () ⑦健康保険組合や共済組合の場合は、大半の組合が附加給付を実施しているが、政府管掌健康保険の場合は、附加給付が法的に認められておらず、ひとつも実施されていない。これは、厚生省の考えとして、「附加給付を行うと本人負担が軽減されて、受診抑制効果が期待できにくくなる」といった考えが背景にあるからである。
- () ⑧よく二重指定という言葉をよく耳にするが、これは医療機関が診療を行うには、「健康保険法の保険医療機関指定」と「医療法の開設届」が必要という意味で使われる。
- () ⑨みずむしに良くきく薬を入手したが、残念ながら薬価基準に収載されていない。そこで、診察料や検査料は保険請求して、薬代だけ実費徴収した。(薬のマージンは取っていない)
- () ⑩保険診療を行った場合は、一部負担金を徴収することが義務づけられているが、必ずしもこれを守る必要はない。何故ならば、現在のところ徴収しなかった場合の罰則規定はなく、厚生省もこれを黙認しているからである。

以上

ちり講習を行ったという。以下に紹介するのはその折り、講師が用意してきた試験10問。

頭の体操にしてはちょっと堅いが、どうぞ。

同封の返信用ハガキで解答をお送り下さい。上位5名に図書券をさしあげます。(10問正解者が多数の場合は抽選) 〆切: 2月末日消印有効 解説: 解答は3月号に掲載します。

特集

北信越ブロックは今...

新潟・長野・富山・福井各協会の現況と抱負

新潟

将来のビジョンと現実の対応が課題

活気あふれる保険医会に

昨年は、昭和六十一年ももう終ろうとする十二月十九日になって老人待遇を象徴する老人保健法の改正案が、大むね厚生官僚の意図通りに議会を通過した。そして昭和六十二年一月一日から老人の負担額倍増が実施された。まことに老人待遇時代の幕明けをあらわす出来事である。

しかもこれからの医療界は地域医療計画策定、老人保健施設、家庭医などの問題もかかえ、これらを通して官僚統制、保険診療の締めつけ、審査・査定・監督の強化がもくろまれていて、これらの推移を厳重に監視している必要がある。

将来の医療のビジョンの検討と現実の医療に於ける第一線保険医としての対応が今年度の新潟県保険医会の課題と考えているが、その基本は保険医が安心して

勤務できることにある。新潟県保険医会は新事態にすぐとびつきのでもなく、また、やみくもに絶対反対するのでもなく、そのメリット、デメリット、将来への影響などを十分検討し会員の参考に資するつもりである。何事にせよ、この姿勢が新潟県保険医会のものになる。

本年は新潟県保険医会がさらに大勢の会員に入会して頂き、活気あふれる会にしたいと思う。

長野

問題多いペナルテイ

国保滞納者への慎重対応を要求

滞納者にペナルテイをかけることは、行政上の問題を医療機関にゆだね、新たな人権問題を生じ、生命

を守る観点からも問題が多々、認められない。これは岡谷市長に対する同市国保運営協議会の答申でもある。

診を守り、医療機関への害を起さないため、一二期市町村議会に対し、国保料(税)滞納者制裁措置への

ことにある。

新潟県保険医会は新事態にすぐとびつきのでもなく、また、やみくもに絶対反対するのでもなく、そのメリット、デメリット、将来への影響などを十分検討し会員の参考に資するつもりである。何事にせよ、この姿勢が新潟県保険医会のものになる。

富山

障害者老人助成制度を現物給付に連携プレー

富山協会と身体障害者の団体(富山県障連協、腎友会など)との親しい付き合いは、かなり以前から続いている。

車椅子の成人式として、世の注目を浴びる障連協の成人式で協会代表が祝辞を述べたのが、今年で四回目になった。目・耳・口や四肢に障害を持ちながら、これを克服して成人に達した人々の晴ればれとした顔、その日まで幾多の苦難を越えて、我が子を育ててくれた親たちの感無量の顔をしながら、進められていく式は感動の連続であり、「保険医協会の活動は弱者

福井

健康テレホンサービス 一日二十本の利用 三月には「エイズ」も

福井県保険医協会では、昨年の八月から、一般県民を対象に健康医療情報のテレホンサービスを開始した。

きっかけは、一昨年に実施した、県民の健康と医療に関する意識調査で、その中の医療に関する情報の入手先を質問したものに對する回答状況でした。

当初の予想とは裏腹に、かかりつけの医師(主治医)から情報を得る、と答えた人は三〇%を下回っていたのです。

これは「主治医に対する要望事項」のトップに、病名や薬の説明が位置していることと、明らかに関連しています。

多くの患者の待ち時間を考えれば、ひとりの患者に長い説明の時間はとれない。

政府の国庫負担削減の影響をもちに受けた国保が、国保料(税)の大幅値上げにより、被保険者負担の限界を超え、長期滞納者を生じてしまった。さらに、政府は先の老健法改悪の中で国保料滞納者への制裁措置を盛り込み、従来以上に市町村に国保の経営努力を促している。

そのため、県下市町村も国保料の滞納金徴収対策にやっきとなっている。しかしながら一年以上の保険料滞納が二、〇〇世帯あった長野市の滞納整理月間の結果をみると、納付や納付契約ができたのが一、三五〇世帯で、六五〇世帯が滞納解消のメドがつかない深刻な状態である。

保険医協会は、患者の受診を守り、医療機関への害を起さないため、一二期市町村議会に対し、国保料(税)滞納者制裁措置への

診を守り、医療機関への害を起さないため、一二期市町村議会に対し、国保料(税)滞納者制裁措置への

診を守り、医療機関への害を起さないため、一二期市町村議会に対し、国保料(税)滞納者制裁措置への

診を守り、医療機関への害を起さないため、一二期市町村議会に対し、国保料(税)滞納者制裁措置への

慎重な対応と、医療機関への責任転換しないよう働きかけていくことにしている。

た。当局が予定している、償還制による障害老人の入院負担金助成を、現物給付制にして欲しいとの要望である。寝たきりなどの障害をもつ、しかも老人に対して、償還制は入院治療抑制にもつながるものだから、という主張である。当局は理が私達にあることを認め、数日後、要望が通ったとの通知があった。

医療と福祉を守る保険医協会と障害者団体の連携プレーはこれからも続けられていくことだろう。

従って説明不足という悪循環になります。

二、三分の情報テープで解決する問題ではありませんが、患者が医師と対面したときに、せめて的はずれの質問にならないように知識の整理に活用してもらえればと期待しています。

今日まで、テレビや新聞、市町村の広報担当の方々の好意によって、次第に県民の間に広がりつつあります。最近では、一日二〇本前後の頻度で利用されています。

原稿は原則として会員自身が執筆することになっており、次第に執筆陣が形成されています。

三月には話題の「エイズ」対策の情報を、月初めの一週間、ぶっとおして提供予定です。

三月には話題の「エイズ」対策の情報を、月初めの一週間、ぶっとおして提供予定です。

三月には話題の「エイズ」対策の情報を、月初めの一週間、ぶっとおして提供予定です。

医療・福祉をささえる人たち

①

池本整形外科の巻



お昼休みの編集会議

診療室の中だけに限られがちな患者さんとのコミュニケーションの輪を広げようと、最近、院内新聞の発行が全国的に広まっている。

意欲あふれる院内紙「松葉杖」が創刊

群馬県保険医協会では、三月から共同編集方式による院内新聞づくりに二十四人の会員が参加することになり、これからさらに増えつづけることが予想される。石川県では、その数まだ少なく数件といったところ。しかし、地域医療に対する先生の考え方や健康に関する情報を患者さんに伝えるため、患者さんからは健康に関する質問や地域の出来事を掲載するなどの方法で、医師と患者さんの信頼関係がより深められると好評である。

この度、そんな院内新聞が一月二十日、池本整形外科

科医院から誕生した。紙面は患者さんの手助けに、患者さんと共にという意味を込めて整形外科らしく、「松葉杖」。スタッフ手づくりのレタリングの題字ひとつみても意欲溢れる力作だ。読みごたえも十分で、患者さんの評判も上々とのことである。この『松葉杖』、池本先生の地域医療に対する熱意を受けて、スタッフの方々がつくっているとのことである。

あえずうちのスタッフに相談したわけでは、うちには二十四人のスタッフがいますが、若手の前田君が編集長を引き受けてくれたのをきっかけに、去年の春ごろ六人の編集部が出来上がりました。一週間に一、二回昼休みに集まって編集会議を重ね、去年の九月ごろに第一号の編集企画がまとま

って現在に至ったわけでは、何しろ初めてのことで、レイアウトや原稿の校正にずいぶん苦労したようで、よくやってくれたという気持ちでいっぱいです。」

この『松葉杖』、今のところ年に四回発行とのことであるが、第二号が待ちどおしい。

(編集部・取材班)

職員全員の労作

編集長 前田達明



当院にて院内報の企画がもちあがり、私が編集長に任命されたのは突然のこと

でした。この日より、新聞のテレビ番組欄しか見なかった私が、新聞を一枚一枚目を通すようになり、院内報製作の準備を始めて、新聞づくりの難かしさを初めに知りました。

中でも、院内報の題名を決定することで大変苦労しました。当院が整形外科であるということから「松葉杖」が選ばれました。

このように職員全員で作った院内報「松葉杖」の創刊号が、思いのほか患者さんに好評であったことを大変うれしく思いました。

この「松葉杖」が今後、患者さんをはじめ、みんなに愛される新聞となるように編集部一同がんばって行きたいと思っております。

最後に、編集部のメンバーを一口インタビューを合せてご紹介させていただきます。(別掲)

連載「医療・福祉をささえる人たち」の開始にあたって

医療・福祉の現場では様々な職種の人たちが、国民の健康維持のために活躍しています。ことコーナーはそれらの人々の働く喜びや悩みを紹介し、医療・福祉担当者の相互理解と協力の一助にとの思いをこめて設けました。

引き続き、看護婦、歯科衛生士、特養ホーム寮母などあらゆる職種の方々にご登場いただきますので、読者の皆さんのご意見をお寄せ下さるようお願いいたします。(編集部)

院内新聞「松葉杖」

B5版 4ページ

年4回発行

創刊号 1月20日発行

「松葉杖」の創刊号をお読みになりたい方は、協会までご連絡下さい。一部お届けします。

勝木 勝 ひげのよく似合う放射線技師。2児のパパです。

「患者さんに喜んでもらって、ほんとうにやりがいがありました。今後は決められた紙面によりよい内容のものを連載して行きたい。」

高本ひとみ チャームポイントは大きな目。おっとりとした性格の新婚さん。

「患者さんの評判も上々で大変喜んでいきます。今回あまり新聞にかかわらなかったように思いますので、今後がんばりたいと思います。」

直谷寿美江 笑顔のかわいい、ひょうきん主婦、映画がとっても大好きです。

「できあがった後の反響が良くとても嬉しく、今後もっと読んで「ため」になる新聞作りをしていきたいと思っています。」

竹越 清美 よく気をつく世話女房型で、それが彼女にとってよく似合うのです。

「新聞づくりに参加して自分自身も勉強できたと思います。これからは勉強しながら楽しい新聞を作りたいと思います。」

中道 順子 なんとなく守ってあげたいところが人気の秘密?

「新聞を発行することで、患者さんとの関係がより親密になってくれればと思っています。今度も患者さん第一に考え、喜ばれる新聞を作りたいです。」

編集部のみなさんから一言

石川の冬まつり

文弥人形まつり

尾口村東二口

手取川上流左岸に位置する尾口村東二口、雪深い多雪地帯である。家々は軒近くまで白く包まれてしまう。そして厳冬の二月、三百年の歴史を持つ「文弥人形浄瑠璃・でくの舞い」が、今でも毎年演じられる。

太夫の語り、笛、三味線、太鼓の音に合わせたでくの動きは、舞う人一体になり、生気さえ漂わせる。

太夫、人形使いともに一人前となるには、約十年かかるというが、村人たちのこの人形芝居に対する愛着の深さを語るエピソードは数多い。

(写真提供 尾口村商工観光課)



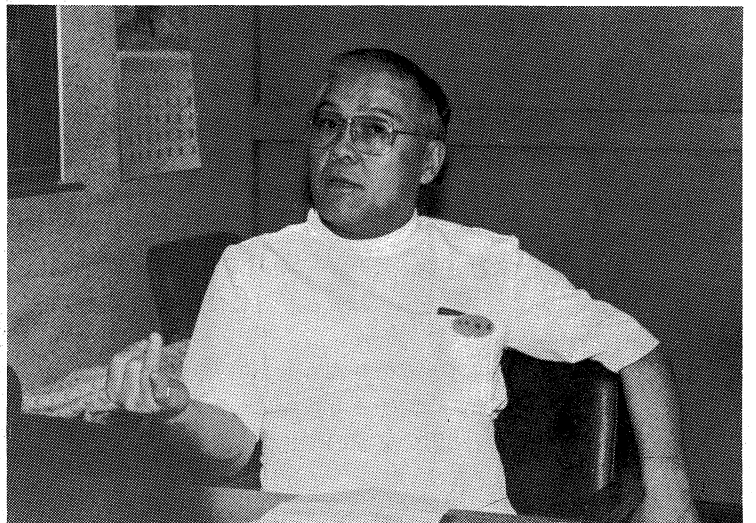
このシリーズは今月号をもって終了しました。

仲井信雄先生の巻

小松市西町134

お訪ねします

お金儲けを考えたら 医者ではない



医師の側の改善すべき点について大いに啓蒙を…と、保険医協会へひとこと。

「医学はもとより俳句や絵画、英詩など実に多芸で人望のあった久留 勝教授を慕って私は金大医学部第一外科教室で消化器外科を専攻しましたが、同教授が阪大医学部に転任され、後任の卜部教授に仕えてから小松総合病院外科医長を経て、昭和三十七年に二十五床の外科病院を開業しました。」

「その後、テレビレントゲンを購入したため昭和四十三年、現在地に四十五床の新病院を建築しました。当時、県内でテレビレント

ゲン設置は金沢大学付属病院、県立中央病院に次いで三番目であったと記憶しています。」

そのころから仲井先生は病院建築に関するいろいろなアイデアをノートに書き込んで、将来は自分の理想とする病院づくりを考えると、昭和五十八年に辰口町に念願の芳珠記念病院(二四〇床)を作られた。これまで三回病院を建設されたことになるが、「お金儲けを考えたら医者ではない。私は医者であり、事業家ではない」と肝に銘じている

とのことである。

仲井先生の目指している病院の概念は、「人間愛を基調として患者さんの生活を尊重し、病院生活がその家庭生活の延長線上に位置するもの」であり、芳珠記念病院には仲井先生のたくさんのアイデアが生かされている。(注1)

「小松市医師会会長を昨年四月より引き受けることになりましたが、会員は診療科によっても又、病院と診療所の規模によってもいろいろと相違があるので、私は全員に共通する問題として救急医療と検診業務に力点を置いています。この二つを疎かにしては医師の存在価値はなくなると事ある毎に主張しています。」

すでに小松市では早朝五時から検診車による胃透視を七〇〇円負担でやっております、このため小松では胃検

診に来院する患者は激減しているとのこと。

「小松総合病院の増改築も大きな問題であり、前会長が三〇床のオープンベッドを含む三九〇床で合意をしましたが、昨年さらに折衝を重ねて、六〇床の老人病床も設けることで合意しました。病診連携がスムーズに行くように小松市・総合病院・医師会の三者が月一回定期的に話し合いの場を持つようにしています。」

「保険医協会に対しては診療報酬引き上げや老人保健法改悪反対の運動も大事とは思いますが、限られた医療資源の中で有効利用、病診連携の推進など医師の側の改善すべき点について大いに啓蒙してほしいですね。」

「私は音楽が好きであり、自分でフルートも吹きますし、本がないと眠れないたちですが、一方、読みだすとすぐ眠くなります。(笑い)とにかく心掛けていることは睡眠をしっかりということ。」

(注2) 『石川医報』第八八四号(第八八八号)にシリーズ掲載された仲井信雄先生の「開業医の病院建築談」に詳しく紹介されています。ご参照下さい。

クアハウス(Kur Haus、ドイツ語)とは、リゾート地、温泉などにスポーツ・トレーニングの施設を合わせて、総合的な健康づくりを図ろうとする試み、あるいはその施設全体のこと。

石川保険医新聞

101号から150号まで **合本** 近々 **作成**

1冊 3,000円

50部限定出版します。

ご希望の方は、事務局までお早目にお申し込み下さい。

なお、51号～100号までの合本も数冊在庫があります。

セットでお求めの場合 4,000円

☎0762-22-5373